

製品名: SK2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81564**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 69.2kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 遺伝子名 | SK2 |
| 別名 | SPHK2; SK-2; SPK 2; SPK-2 |
| 遺伝子 ID | 56848.0 |
| SwissProt ID | Q9NRA0 |
| 免疫原 | ヒト SK2 の合成ペプチド (AA: 36-52)。 |

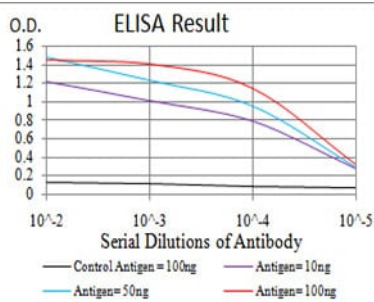
背景

この遺伝子は、スフィンゴシンをスフィンゴシン 1-リン酸にリン酸化することを触媒する 2つのスフィンゴシンキナーゼアイソザイムのうちの 1つをコードしています。スフィンゴシン 1-リン酸は、遊走、増殖、アポトーシスなど多くの細胞プロセスを媒介するだ

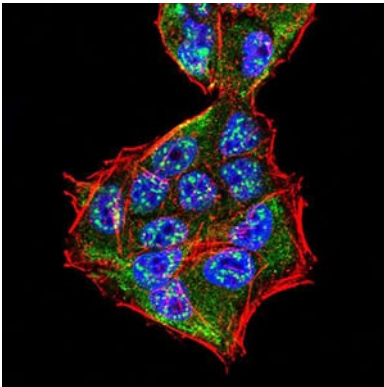
けでなく、血管新生や腫瘍形成を促進することで、いくつかの種類 of 癌にも関与しています。コードされているタンパク質は、乳癌の増殖と化学療法抵抗性に関与している可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。

研究分野

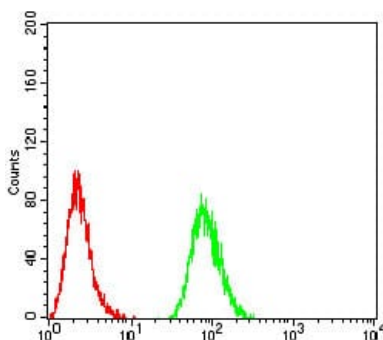
画像データ



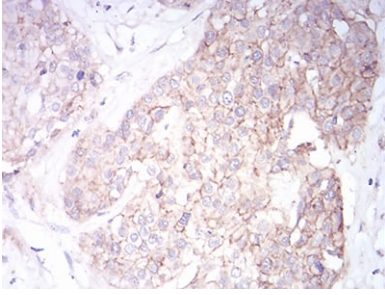
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



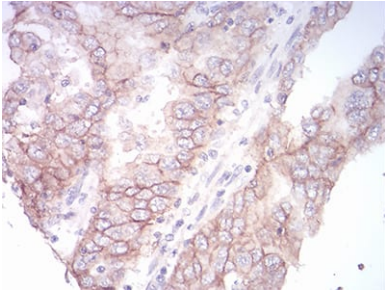
SK2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



SK2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



SK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



SK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。